

## 第10回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時：R2.3.25(水) 13:30～14:00

場所：審議会室（本館5階）

（進行：厚地危機管理監）

### 1 開会

### 2 本部長訓示（蒲島知事）

※別紙「第10回熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 本部長訓示概要」により訓示

### 3 議事

#### （1）感染者の発生状況について（上野健康危機管理課長）

資料1により説明

#### （2）各部の取組みについて

##### ① 緊急対策【第4弾】について（山本総務部長、磯田商工観光労働部長）

資料2により説明

#### 【発言】

##### ●田嶋副知事

今回の緊急対策第4弾での金融支援等の商工会等の窓口の強化について、各機関に相談が殺到していると思うので、マッチングも含めて、联合会としっかり連携して早期に体制が整うようお願いします。

##### ② 県主催行事の取扱いについて（渡辺健康福祉部長）

資料3により説明

##### ③ 県内学校の再開について（古閑教育長）

資料4により説明

#### 【発言】

##### ●山本総務部長

私立学校においても、教育委員会と同様の対応を考えています。現状、私立学校においても全中学校・高等学校で、春休みの開始日前日まで臨時休業が実施されている状況です。

先ほど教育長から説明のあった文部科学省からの通知及び県教育委員会からの各学校、市町村への通知等も踏まえ、私立学校に対しても同様のお知らせをしたいと考えています。各校の状況に応じ、教育活動、また学校行事が再開されることとなりますが、各学校において感染拡大防止対策に万全を期すようお願いしていきます。

私立学校で必要なことがあれば、県としても積極的に対応していくことと考えています。

### (3) その他

#### ●寺野国際スポーツ大会推進部長

会議資料5の17ページにある、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について報告します。配布の資料は、東京オリンピック組織委員会のホームページとなります。

昨夜、安倍総理、森組織委員会会長、トーマス・バッハIOC会長などの関係者間において電話会談が行われ、オリンピック・パラリンピックを延期することについて合意がなされています。また、遅くとも来年の2021年の夏までの開催に向けて具体的な検討を行っていくこととされています。

それを受けて、会議資料の18ページですが、聖火リレーの延期に関して組織委員会からプレスリリースがなされています。この中では、現在決定している聖火ランナーの方には、優先的に走行いただくことが記載されています。また、昨夜の武藤事務総長の発言では、期間やルートなどの基本的フレームは維持されるということです。県としては、組織委員会や市町村と連携を密にし、適切に対応できるようしっかり取り組んでいきたいと思っております。

#### ●迫田健康福祉部医監

昨日、熊本市の新型コロナウイルス感染症専門家会議が開催されました。私にも依頼があり、オブザーバーとして参加したので報告します。

熊本市の会議の目的は、市のこれまでの感染症防止対策に関する検証や、学校や市有施設の再開に関して、専門家としての意見を求めるものだったので、県としての立場からアドバイスを行いました。

一方、県としても、今後の患者増加を見据えて医療提供体制を整備する必要があり、メンバーが重複しますが、同じような会議を立ち上げる準備を行っているところです。メンバーが参加しやすいよう、今後、市と会議開催等について協議を進めていきたいと考えています。